

# 新年を迎え 決意あらたに!



左から若林信一、ひろせ公代、わたなべ真千、さい喜世子各市議

あなたと市政をつなぐ 日本共産党市会議員団

## くらし・福祉・教育の充実を! 日本共産党

### 2018年予算要望書提出

2018年、新しい年を迎えました。

日本共産党市会議員団は、市民の皆さんの切実な願いを届けるため今年も全力で頑張る決意です。

昨年は、安倍政権の政治で、医療、介護、社会保障は削られて暮らしは一層厳しくなり、「貧困と格差」が広がる一方です。

大阪では維新政治のもと、大阪万博へのカジノ誘致や、地方自治破壊の「大阪都構想」がつくられようとしています。

日本共産党市会議員団は、羽曳野市が地方自治体の本来の仕事である「住民の暮らし・福祉・教育を最優先にした市政運営」をすすめるよう予算要望書を市に提出しました。

届け続けた要望で

### 2017年実現した主なもの

- ★全中学校の普通教室に  
エアコン設置が実現  
2018、2019年で全小学校に設置予定
- ★「子ども未来館たかわし」に  
太陽光パネル設置が実現
- ★小・中学校の校舎・体育館の  
耐震化工事が完了

### 2018年重点要望は…

- 中学校の全員給食
- 18歳までの医療費助成の拡充
- 国民健康保険料の引き下げ
- 高齢者のお出かけ支援策の創設
- 市民健診の無料化
- 地域の声を生かした幼稚園・保育園の存続
- 0歳児から5歳児までの保育園の整備で待機児童解消
- 教育施設との共用でない市民プールの存続



2017年11月24日 予算要望書提出